

テハ、領主ト同然也、早々改名スベシト達シケル所、カレコレ迷惑ノ趣キヲ申、改名セズ、其後備後守領内巡見ノ節、カノ村長ニ、直ニ申サレケルハ、其方ノ名ト吾名ト同然ナレバ、其方改名シテ然ルベシト申サレケレバ、村長答テ、私家ハ、往昔ヨリ代々備後ト申シテ、此村ニ住居致候故、村名迄、既ニ備後村ト申候、殿ハ幾代アトヨリ備後守ト仰セラレ候哉、其年數ハ存ジ申サズ候ヘドモ、當所ノ御領主ニナラレ候ハ、昨今ノ事ニ候、サレバ舊キ私方ニテ改シヨリ、新キ殿ノ御方ニテ御改メナサレ然ルベキヤニ存ジ候ト云、此村長、正直律義ノ一コク者ト云事、備後守、兼テ聞居ケレバ、今村長ガ答ヲ聞テ、莞爾トシテ、成程其方ノ申所尤也、我早速改メベキナレド、我ハ上ヨリ拜領ノ名ナレバ、此方心任セニハ改メ難シ、サレバ其方モ改ルニ及バズ、此方モ改ムベカラズ、其方ハ村長ノ備後、此方ハ領主ノ備後也ト申テ、スマセラレシト也、神君其事ヲ聞召サレ、備後守ガ寛仁大度ヲ賞シ給ヒケルト也。

〔養輪軍記下〕養輪城安中松井田落城之事

爰に那波無利之助と申者、手勢二百五拾餘人に而、秋間山を飛越、烏川を打渡、

〔常山紀談六〕尼子十勇士と世に唱へけるは、山中鹿之介、藪原茨之介、五月早苗之介、上田稻葉之介、尤道理之介、早川鮎之介、川岸柳之介、井筒女之介、阿波鳴門之介、破骨障子之介なり、

〔備前老人物語〕織田内府へ生駒萬兵衛といひし人、新參の時、ある人はじめてゑる人になりて、貴殿の名、三つの不審侍り、ま兵衛か、まん兵衛歟、まん兵ゑん歟、まかどうけたまはりたく存すといひけり、その時萬兵衛申けるは、不審し給ふ所、餘義なし、なにやうにも、くるしからず、その人の腹中に虚實あればなり、腹空虚の時には、はねていふべき力あるまじければ、ま兵衛との給ふべし、又腹中充實して、酒氣など盛ならん時は、まん兵ゑんとはねらるべし、その本名は、生駒萬兵衛と申者也、といひけり、かのごひし人々、又いふべき詞なかりしを、さはらずして、味ある返答なりと、